

■省エネ・グリーン化推進事業

【衛生費】(継続) 1,673 万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

地球温暖化対策の推進、低炭素社会に対応した快適で安全な地域づくりを進めるため、国の交付金を活用して、峰山総合福祉センターに太陽光発電設備を設置するとともに、市道浅茂川小浜線(うらしまエコロード)にエコ防犯ソーラーライトを整備する予定としています。



ソーラーライト

3 ごみ・廃棄物対策

将来を見据えたごみ処理対策の方針

■一般廃棄物処理基本計画策定事業

【衛生費】(新規) 300 万円
(市民部 市民課)

平成 18 年度に策定した一般廃棄物処理基本計画は、平成 32 年度までの 15 年計画で、おおむね 5 年ごとに見直すこととしています。

策定から 5 年が経過し、施設の老朽化や使用期限などもあることから、リサイクルのあり方も含め、今後の廃棄物処理をどのように進めていくのか見直しを行います。



一般廃棄物処理基本計画

■海岸漂着物回収事業

【衛生費】(継続) 1,400 万円
(市民部 市民課)

京都府の補助制度を活用して、地元区や観光協会の協力を得ながら、海岸に漂着したごみなどの回収を行います。

市が管理する海岸の漂着ごみについては市が回収し、京都府が管理する海岸の漂着ごみについては市が京都府からの委託を受けて回収します。(実施予定箇所 22 か所)



海岸漂着物の回収作業

4 循環型社会の構築

持続可能な循環型社会をめざして

■地域バイオマス活用推進事業

【衛生費】(継続) 1,055 万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

私たちの生活や事業活動を通して大量に発生するごみの中には、工夫次第で資源として活用できるものがたくさんあります。生ごみはしっかり分別すれば資源として再生することが可能であり、生ごみからできた肥料を農地に使うことで資源の循環を行うことができます。

昨年度に引き続き、家庭や事業所の生ごみ分別・収集の検討をモデル的に行い、生ごみなどから作った肥料を実際の農地で使う実証試験を行います。



モデル地区での生ごみの収集

Ⅲ 生きる喜びを共有できる

健やか安心都市

安心ネットワーク形成プロジェクト構想

1 市民主体の健康づくりの推進

自殺ゼロのまちづくりに向けて

■自殺予防対策事業

【衛生費】(拡充) 204 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

自殺予防を図るため、講演会を開催するとともに、毎月、臨床心理士を迎え、「心の相談事業」を実施し悩みを持ったかたの相談を受けます。そのほか、相談を受ける人材を育成するための講座も開催します。

また、悩みを抱えるかたが、電話で相談できるよう「こころの相談電話」「京都いのちの電話」への無料接続(フリーアクセス)を引き続き実施します。



自殺予防傾聴講座

(相談窓口)

京丹後市内から、固定電話や携帯電話で下記の番号に掛けていただければ無料でご利用いただけます。

無料電話相談窓口

- ◇「こころの相談電話」
(京都府精神保健福祉総合センター)
☎ 0120-689-874
(月曜日～金曜日)(9時～12時・13時～16時)
- ◇社会福祉法人「京都いのちの電話」
☎ 0120-689-107
(365日・24時間)

■健康づくり推進員活動事業

【衛生費】(継続) 190 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

平成 21 年度に各地区からの推薦により健康づくり推進員を設置し、地域の健康づくりの推進役、地域の健康づくりのリーダーとして検診受診の啓発キャンペーンや地域での運動教室を実施しています。健康づくり推進員が健康づくりのための知識を持ち、自分や家族の健康づくりを進めるとともに、地域での活動が円滑にできるよう研修会を行います。

○健康づくり推進員 232人(平成 23年 3月末)



健康づくり推進員の啓発活動

■在宅健康管理事業

【衛生費】(継続) 364 万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

市から貸与した自動血圧計と携帯端末機から血圧測定したデータが市役所に送信されることで、在宅で日々の健康状態を管理できます。必要に応じてメール、電話、訪問などにより保健師が保健指導を行います。

血圧測定を習慣化し、循環器疾患予防の“出発点”である「血圧管理」を実践します。

- 自動血圧計・携帯端末機(スマートフォン) 200 台を貸し出します。
- 毎日測定したデータ判定を集計し、3 か月に 1 度ご自宅へお届けします。



血圧測定の様子